

消防だより

令和元年11月号



救急医療週間を実施しました！

これは、「救命の連鎖、お見知りおきを！」をテーマに、9月8日(日)から、「救急の日」を含む9月14日(土)までの一週間を救急医療週間とし、毎年全国の消防本部で行われている救急啓発運動のことです。

「救急の日」及び「救急医療週間」は、救急医療及び救急業務に対する町民の正しい理解と認識を深めると同時に、救急医療関係者の意識の高揚を図ることを目的としています。

期間中の9月12日(木)には、当消防本部において救急技能展示訓練が行われ、認定救命士による特定行為に主眼をおき、2つの隊で想定訓練を実施しました。また、町内の事業所へ職員が出向いて応急手当講習会を開催し、心肺蘇生法の普及・啓発を行いました。

久米島消防は、多様化・高度化するいかなる救急現場においても対処できるように一層の努力をし、今後もさらなる救命率の向上に努めて参ります。



・低血糖発作傷病者へのブドウ糖投与処置
(認定救命士による特定行為)



後列左から
吉野剛教育長、平良弘光消防団長、浜元浩消防長
前列左から
仲与志勇斗消防士、儀間秀得消防士、宇江城翔副士長、
山城大虎消防士

署内消防職員意見発表会を開催しました！

9月17日(火)に当消防本部において行われたこの意見発表会は、消防職員の職務に対する士気の高揚を目的としたもので、日頃の業務で体験したことや提言などを、職員自らの言葉を通じて自由に発表するというものです。今回は4名の職員が意見発表を行い、審査委員長に吉野剛教育長を迎え、その中から見事最優秀賞に選ばれた儀間秀得消防士が、11月1日(金)に北中城村で行われる第40回沖縄県消防職員意見発表会に派遣されることになりました。

久米島町消防団、第34回南部消防操法大会で2位の快挙！

9月27日(金)に糸満漁港内で行われた第34回南部消防操法大会小型ポンプ操法の部において、久米島町消防団が出場6団体中2位という快挙を成し遂げました。この大会は、消防団員によるポンプ操作やホース延長などの正確性と、消防団員として必要な規律と礼式などの節度を競うもので、実際の災害を想定して行われた訓練です。久米島町消防団は今後もさらなる技術の向上に努め、久米島町の安全を守ります。



左から前原朝孝、伊是名和明、平良隆平、真栄平翼、棚原翔太

9月出動状況 ()は、令和元年累計

- | | | | |
|-----|------------|------|----------|
| ・救急 | 33件 (264件) | ・風水害 | 0件 (0件) |
| ・火災 | 0件 (1件) | ・捜索 | 0件 (2件) |
| ・救助 | 0件 (1件) | ・その他 | 2件 (20件) |



合計……… 35件 (288件)